








# 誤嚥性肺炎で入院された患者様へ

病名：誤嚥性肺炎  
診療科：呼吸器内科

入院病棟：

症状：  
患者氏名： 様

経過日付	入院日	入院2日目～3日目		入院4日目～6日目			入院7日目	退院予定日	外来受診日	
ゴール (到達目標)	①呼吸が安定している。 ②食事摂取に関する指示を守ることができる	①リハビリを開始することができる		①呼吸状態が安定している ②リハビリができている				①呼吸状態が安定している ②発熱がない		
治療処置	お食事はいったん中止です。 抗生剤の点滴を行います。 痰を出しやすくする吸入をします。  		口の中の状態を確認するために 歯科受診をします。 受診後は歯科からの指示に沿って、 お口の中のケアをしていきます。						退院後の受診日までに異常を感じましたら受診日を受診してください。	
検査	採血とレントゲンの検査をします 		 採血をします				 採血をします			
安静度	病状が安定するまでは室内で お過ごしください。	病状が安定している場合は病棟内では自由に過ごせます。			病状が安定していれば制限はありません。(院内フリー)					
食事	治療のため絶食です。		言語聴覚士が、飲み込みの評価をしたうえで、どのように栄養摂取していくかを医師と検討していきます。	【経口摂取可能】 摂取可能なお食事から開始します 状態によってはゼリーやムース状のお食事のこともあります。 飲み込みの状態によって食事内容は変更します。						
				【経管栄養】 お鼻から胃までチューブを入れて栄養剤を注入します。 下痢や嘔吐などの症状がなければ少しずつ量を増やしていきます。						
				【点滴のみ】 点滴で栄養と水分を補給します。						
排泄	病棟もしくは病室のトイレをご利用ください									
清潔	発熱がなければ入浴できます。 入浴できない場合は看護師が体拭きや洗髪のお手伝いをします。									
リハビリ		運動に関するリハビリを始めます	飲み込みに関するリハビリを始めます							
説明	現在服用しているお薬や、お薬手帳があれば、看護師へ渡してください。 入院日または入院2日目頃に薬剤師が病室へ行き、お薬のことをお伺いいたします。  転倒防止のDVDを見ていただきます。  なにかわからないことや気がかりなことがあればいつでも病棟スタッフへ声をかけてください。	今後の療養先について検討する必要があります。  自宅退院またはリハビリのための転院を希望されるかを医師や看護師、社会福祉士と相談していきます。						自宅退院の場合は今後の食事内容に関して栄養指導を行います。		

※この表は入院中のプランを一覧にしたものです。  
※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。